

■ ゆういちさんは、七輪の使い方をおじいさんに教わることにしました。



ゆういちさん

炭に火をつける前に、七輪の下のほうにある窓のよ
うなところは、熱がにげないよう^{まど}に閉めておいたよ。



窓をあけておく

その窓は、火をつけるときは開けておかないとだめ
なんだよ。閉めるのは、火を消すときだよ。



おじいさん

(1) 空気に体積^{わりあい}の割合で最も多くふくまれている気体は何ですか。下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 酸素
- 2 二酸化炭素
- 3 ちっ素

3

(2) おじいさんが、火をつけるときに、七輪の下のほうにある窓を「開けておかないとだめ」と言ったのはなぜですか。そのわけを書きましょう。

新しい空気が入ってこなくなるから。

ゆういちさんは、七輪に炭だけを入れて、炭に火をつけようと思いました。



ゆういちさん

炭に火をつけようとしたけど、なかなか燃えないよ。

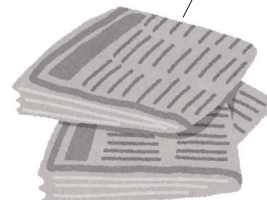
新聞紙を入れて、それを燃やしてから炭を燃やしていくといいんだよ。



おじいさん

ゆういちさんは、新聞紙がすぐに燃えつきてしまうことがないように、小さく折って重ねたものを入れて、それに火をつけようと思いました。しかし、なかなか燃えませんでした。

小さく折った新聞紙



ものが燃えるには **ア** が必要だよ。小さく折りたたむと、新聞紙が **ア** とふれる部分が少なくて、うまく燃えないんだ。新聞紙は、折って重ねたものではなくて、**イ** もののほうが燃えやすいよ。



おじいさん

(3) **ア** にあてはまることばを書きましょう。

空気 (酸素)

(4) 燃えやすくするために、新聞紙はどのようにしたのを使うとよいですか。 **イ** にあてはまることばを書きましょう。

軽くまるめた／細長くひねった／くしゃくしゃにした など